

事業用自動車の 安全に向けて

「状況・意図理解によるリスクの発見と回避」
プロジェクトシンポジウム

平成18年 8月1日(火) 午前9時50分～午後5時

北海道厚生年金会館 ウェルシティ札幌

参加無料

第一部

10:00～11:50

状況・意図の理解技術

第二部

13:00～15:15

事業用自動車の安全への取り組み

◎第二部同時開催 「状況・意図理解によるリスクの発見と回避」
プロジェクト進捗報告会

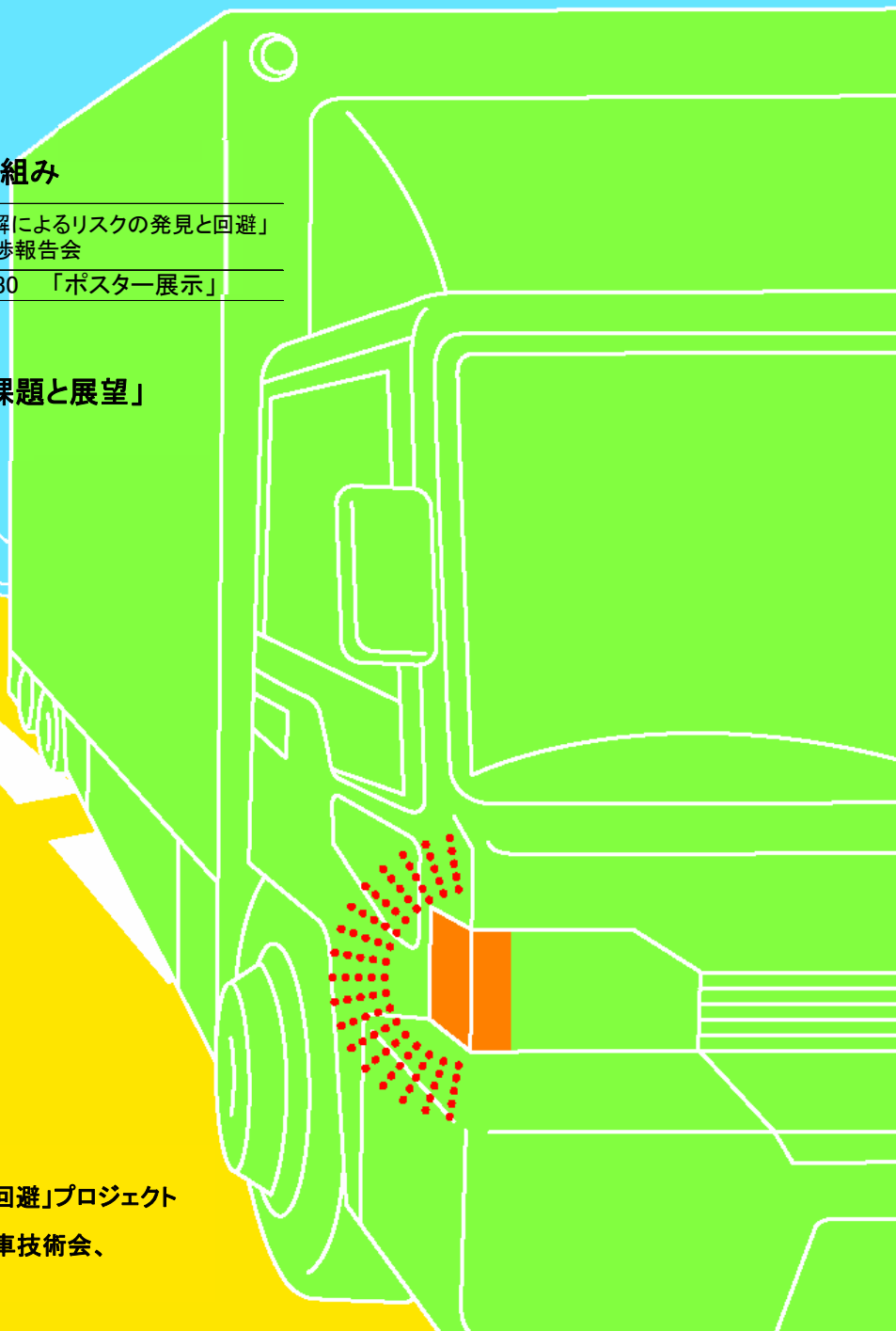
◎コーヒープレイク 15:15～15:30 「ポスター展示」

第三部

15:30～17:00

パネルディスカッション

「事業用自動車の安全への課題と展望」



[主催] 文部科学省科学技術振興調整費
「状況・意図理解によるリスクの発見と回避」プロジェクト

[後援] 国土交通省北海道運輸局、(社)自動車技術会、
(社)日本交通科学協議会

事業用自動車の安全に向けて

「状況・意図理解によるリスクの発見と回避」プロジェクトシンポジウム

自動車の安全確保には長年に亘り種々の工夫がなされてまいりましたが、事故率の大幅な低減には至っておらず、日本全体では事故発生件数は増大の一途をたっています。事故のおよそ90%は運転者のエラーによると思われるものの、その背後には必ずしも運転者の責に帰することができないような複合的に絡み合う要因の存在が知られています。また、走行環境や運転者の状態に応じた適切な支援なしに自動車の安全を確保することは困難になりつつあります。

「状況・意図理解によるリスクの発見と回避」プロジェクトは、自動車事故の抜本的低減を目指し、交通状況とドライバの意図に応じた運転支援を実現する予防安全型技術の構築を目標に、平成16年7月に発足しました。これまでも、プロジェクトの狙いや成果をご紹介するために、シンポジウム、施設公開、技術交流などを東京・つくばを中心に進めてまいりましたが、より多くの方々と交流を持つべく、札幌の地においてプロジェクト主催シンポジウムを開催させていただくことになりました。

このシンポジウムにおきましては、研究成果のわかりやすい説明だけでなく、行政・事業者の方々からのご講演や、パネリストとフロアの方々を交えた討論もございます。自動車安全にご関心をお持ちの皆様にはひろくご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

研究代表者 稲垣 敏之

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 リスク工学専攻 教授

日時	平成18年8月1日(水) 午前9時50分～午後5時
場所	北海道厚生年金会館 ウエルシティ札幌 (札幌市中央区北1条西12丁目)
参加費	無 料



申込み方法 事前申込なしでもご参加いただけますが、資料準備の都合上、聴講希望の方はE-mailもしくはFAXでシンポジウム担当までお申し込みください。

参加申込先 「状況・意図理解」プロジェクトシンポジウム担当(北海道運輸交通研究センター内)
TEL: 011-738-0062 FAX: 011-738-0063 E-mail: seminar@hotrec.or.jp

問合せ先 「状況・意図理解によるリスクの発見と回避」プロジェクト事務局
〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学大学院システム情報工学研究科 認知システムデザイン研究室内
TEL: 029-853-5011 FAX: 029-853-5011 E-mail: kashin-office@css.risk.tsukuba.ac.jp

平成16年度採択 文部科学省 科学技術振興調整費 重要課題解決型研究

課題名: 「状況・意図理解によるリスクの発見と回避」

(<http://www.kashin.risk.tsukuba.ac.jp/>)

政策目標: 安心・安全で快適な社会の構築

課題分類: 交通事故対策技術の研究開発

シンポジウム プログラム

(敬称略)

9:50~10:00

オープニングスピーチ

稲垣敏之(筑波大)

第一部 10:00~11:50 『状況・意図の理解技術』

コーディネーター
片井 修(京都大)

- | | | |
|---------------|-------------------|------------|
| ● 10:00~10:20 | 状況の中での人の意図と機械の意図 | 稲垣 敏之(筑波大) |
| ● 10:20~10:50 | 通常行動からの逸脱の検知 | 赤松 幹之(産総研) |
| ● 10:50~11:20 | 運転行動特性—初心者と熟練者の比較 | 小島 幸夫(科警研) |
| ● 11:20~11:50 | 状況理解技術の基礎と応用 | 大津 展之(産総研) |

第二部 13:00~15:15 『事業用自動車の安全への取り組み』

コーディネーター
上田 陽一(産業医科大)

- | | | |
|---------------|----------------------------|---------------------------|
| ● 13:00~13:30 | 北海道における事業用自動車の安全への取り組み | ＝行政の視点＝
加藤 隆一(北海道運輸局) |
| ● 13:30~14:00 | 大型トラック・バスの安全対策 | ＝事業者の視点＝
會田 和紀(JRバス関東) |
| ● 14:00~14:30 | 東名・名神における長時間運転行動データから見えるもの | 赤松 幹之(産総研) |
| ● 14:30~15:15 | 状況・意図理解によるリスクの発見と回避 | 稲垣 敏之(筑波大) |

15:15~15:30 コーヒーブレイク (ポスター展示)

第三部 15:30~17:00 パネルディスカッション 「事業用自動車の安全への課題と展望」

コーディネーター
稲垣 敏之(筑波大)

パネリスト: 赤松 幹之(産総研)、大津 展之(産総研)、加藤 隆一(北海道運輸局)
川原 茂(ニヤクコーポレーション)、小島幸夫(科警研)、蓮花一己(帝塚山大)

『状況・意図理解によるリスクの発見と回避』プロジェクト進捗報告会

13:00~15:00(第二部と同時並列開催) 蓬莱の間

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| ⊕ 状況・意図に応じた適応的機能分配原理 | 伊藤 誠(筑波大) |
| ⊕ 状況・意図理解のための確率統計的手法とビデオサーベイランス | 西田 健次(産総研) |
| ⊕ 長距離運転行動データベースに基づくリスク評価技術 | 宇津木 明男(産総研) |
| ⊕ 運転作業状態の推定技術 | 吉村 健志(海技研) |
| ⊕ 運転員心身状態評価 | 塩見 格一(電子研) |
| ⊕ 高齢者支援 | 関根 道明(交通研) |

※ 各項目20分(15分発表+5分質疑応答)

※ 一般の方も聴講できます

申込み先 (財)北海道運輸交通研究センター
FAX 011-738-0063
E-mail seminar@hotrec.or.jp

FAX で申し込まれる場合は、下記のフォームをご利用下さい
E-mail で申し込まれる場合は、下記の項目を左記アドレス宛
送付してください

「状況・意図理解」プロジェクトシンポジウム担当 宛

事業用自動車の安全に向けて
「状況・意図理解によるリスクの発見と回避」プロジェクトシンポジウム

参加申し込みフォーム

企業団体名(※)		
御役職		
御氏名(※)		
連絡先(※) 電話または E-mail のいずれかをご記入願います。	電話 (FAX)	()
	E-mail	
同一機関から複数 ご参加の場合、同 行者の氏名を右欄 にご記入ください		

注：(※)は必須事項なので必ずご記入ください。

E-mail でお申込みの際にも、必須事項(御所属、お名前、連絡先)は、必ず記載願います。

本フォームでいただきました情報は、シンポジウム担当を通じてプロジェクト事務局にて管理しますが、当シンポジウムでの連絡以外の用途には使用いたしません。